

平成 20 年度市政懇談会会議録〔西方地区〕

日 時 平成 20 年 8 月 9 日 19 : 00 ~

会 場 西方地区センター

参加者 42 人

市長からの市政報告のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

西方地区会長

西方川の蛍の件ですが、2, 3 年前と今年になって、ホタルやホタルの餌のカワニナを取りたいという要望がありまして、私の方ではお断りをした。しかし、市の方では許可をいただいたとお話を聞きました。自治会としてはお断りをしました。そういう関係で、ホタルの餌のカワニナを取ったりすると、自然のサイクルが狂うということで、市としては書類が揃っていれば取ってもいいと言うような指摘をいただいたのですが、その辺りをもう一度ちゃんと説明していただきたいと思います。

市長

地元の皆様には、3 年ほど前にたいへん不愉快な思いをさせてしまったことは私も承知しております。市になりまして、ホタル条例というものを制定したわけでありまして、1 つは保護を通して自然環境の保全を呼びかけるということで、このホタル条例を作ったわけでありまして、いろいろな考えの方がいることは私も承知しておりまして、カワニナの関係で西方の皆様のご感情を逆なでしたことは承知しています。この捕獲許可のことは、内部できちんと明らかにしていまして、申請する方に十分に説明していきたいと思いますので、その点をご理解をいただきたいと思います。窓口が商工観光課になりますので、西方地区自治会の方々から、このような強いご意見があったことを、戻りまして申し伝えますのでよろしくお願いします。

田ヶ谷 男性

市になって 4 年経ちますけども、まだ菊川町役場という看板があっちこっちに見受けられます。やはり他所から見てそういう看板があると非常に私どもは恥ずかしい思いをします。早急に改善をお願いします。

市長

ありがとうございます。また気がついた所がありましたら私どものところに、ここにこんな物立ってるよと教えていただきたいと思います。ちょうど私、一週間ほど前に朝散歩していましたが、近所の方に捕まりまして、まだオカノさん所の信号が菊川町半済になっているから、すぐ直すようにと言われたものですから確認させましたら、菊川ライオンズクラブに付けていただいている看板がありました。今、ライオンズクラブと警察公安委員会と話してやっているものですから、安全課と連携をとって対応しております。本来は、私ども職員が気が付いてやらなくてはならないのですが、そういったところがありましたら、また言っていただければ行政として直せる範囲で対応していきたいと思います。どこかありますか今？

田ヶ谷 男性(再質問)

西方、島川には急傾斜地があるんですけども、その看板が菊川町になっていますし、それから山間部ですけども、ゴミの不法投棄を注意している看板が菊川町役場となっていますのでそこら辺をお願いします。

市長

はい、分かりました。戻りまして早速それは指示しますのでよろしく願います。

島川 男性

地上デジタル放送と言うことで、2011年からですから3年は切ったということですけども、島川から西方地区全体ですけども、電波が非常に入りが悪いということで、苦慮しております。その点ですけども、これは国をあげての事業ですが、現在常葉菊川高校、勝負に負けて野球に勝ったということですけども、その上の方の電波塔に何とかデジタル放送を見れるように要望は出来ないものでしょうか。

市長

今これは国策でやっております、2011年には地デジになるわけですが、私たちも非常に頭を悩ませている1つの対応であります。これにつきましては、企画政策課長が担当しておりますので、具体的に菊川の状況等について、西方のほか、いろいろなところで地デジにつきましては苦労しているところがありますので、市としての対応についての中間報告をさせていただきます。

企画政策課長

企画政策課で地デジの担当をしております。地デジに移行するというので、今までのアナログ電波からデジタル電波に変わります。実はこれまでの電波が行き渡らない地域があるんじゃないかというなかで、国の方で事前に調査をし、地形図に基づいてこの辺りがもしかしたら映らないのではないかという地域の拾い出しをしております。ちょっと今は島川にそういった場所があったかどうかということは分かりませんが、例えば西方地区で言いますと、公文名の自治会の一部において、中部電力さんの共聴アンテナを使われている方の一部の方が、地デジになったときも映らない地域があるんじゃないかなと想像しております。例えば地形が悪くて共聴でやっている、中部電力さんの共聴は、今まで中部電力さんが原因者とやってきたものですからちょっと違うんですけども、地域が菊川市内にいくつかあります。そういうところについては、アナログから地上デジタルする際、ちょっと機械を変えなければいけないものですから、そのことについて国の方から補助金を出すという制度もございます。島川につきましては、多分今共聴ではやられていないと思いますので、国の方の制度には該当しませんけども、ただ映らないとなると今後の対応も出てきますので、もし良ければ、また企画政策課の方にお電話いただければ、国の方のデータと照らし合わせて相談させていただきますので、お願いしたいと思います。また、菊川公園のアンテナの関係ですけども、ここら辺の電波の管理をしているのが名古屋にあります中部電波管理局ということがあります。その方とも話をしたんですけども、やはりこここのところにつきましては、国の計画に入っていないということでございます。基本的にこの菊川は、島田と小笠の河東山の電波でやっていて、河東山につきましては非常に弱い電波でやっているものですから、東名より南までと一般的に言われている。浜松が地域によっては映るということで聞いております。では、もうちょっと河東山の電波を強くすればいいんじゃないかという話もあるんですけども、実は電波が混線すると逆にまた見れなくなってしまう。デジタルと言うものは非常に特性がはっきりしてまして、アナログの場合は映っても少し見えづらいが何とか映る。地デジの場合は、映る場合ははっきり映ります。その代わり映らない場合は、はっきり映らない。河東山を強くしてしまうと、例えば浜松だったり、島田だったり混線してしまって、逆にごちゃごちゃしてしまって、電波が取れなくなってしまうものですから、1キロワットという一番最低限でやっているということは聞いています。この辺りで近くに1つ浜岡の方に出来るようなんですけども、それ以外は県内で作る予定は無いと聞いております。島川の話だったものですから、いろいろと話が飛んでしまって申し訳ないんですけども、もしよろしければ一度企画政策課の方にご連絡いただければどういう状況か、というのを確認した

上でご相談させていただきますのでその時はよろしく申し上げます。

男性

遅れてきて要望事項を渡すのは大変恐縮ですけれども、実は菊川の内田小学校の信号機をちょっと行きますと、左側に栗田土満（くりたひじまる）の生誕の石碑が立っているわけですが、その右側に行く神社で八幡宮があるんですけども、その神官であった栗田土満といった賀茂真淵（かものまぶち）の直弟子で一番弟子で、同じく真淵の弟子であった本居宣長（もとおりのりなが）の一番弟子になる。賀茂真淵の12人の高弟の1人と言われていますが、全然一度も菊川市のホームページには出てこないわけです。やはり、偉人をちゃんとホームページで紹介すると、栗田土満だけではなくて、静岡県内にはいろいろあると思うんですけども、そういう人たちをちょっと興して、ホームページで紹介していったらどうかと思っておるわけです。因みに、今年5月5日に湖西市の国学者で夏目襲磨（なつめみかまる）という、真淵の曾孫弟子になるんですけども、毎年顕彰会をやっているんです。市長さんも出られたり、いろんな形で5月5日に顕彰会をやりながら、講演会をやって発信しているわけです。5月6日の中日新聞を見ていただければそれが載っていると思うんですけども、そういう形でいい人を県外に紹介していただきたいと思っています。そこに先程資料を提出させていただいたんですが、昨年10月から大学の先生が4回ほど来ていまして、学会誌に土満を紹介しています。土満の弟子で掛川の依平の紹介もしています。そんな形でやはりいい人をどんどん発信していただければ人が寄ってくるのではないかと考えていますので、ぜひお金はかかりませんのでよろしく申し上げます。

市長

どうもご提案ありがとうございます。大変いいことだと思いますので、また企画部門がホームページを担当しておりますので、希少な菊川市が産んだ人物につきましては、少し検討させていただきます。栗田土満については、内田100選の中に載っているのではないかと思います。その辺と関係をチェックしながら、関口さんの話とか、いろいろな偉人が菊川市からも出ていますので、総合的に協議をしていこうと思いますのでよろしく申し上げます。

堀田 男性

去年19年に掛川浜岡線のバイパスの件で、運動公園以西の工事はどうなっておりますか。また、計画していると思いますが、着工していただけますか。これをちょっとお聞きしたいです。

市長

掛浜バイパスに毎年いろいろお話しをいただいております、当然今も本来の都市計画道路は、オーバブリッジというものを、地元の皆様にご理解いただく中で、田ヶ谷の方を歩いていくということです。袋井土木あるいは掛川市とも協議を進めております。従いまして、頭を悩ますのは、どのような道路整備手法でやっていくかということはいろいろありますので、土木担当の方で掛川市と袋井土木と協議してまいりたいと思います。もう1つは、沢田地区の皆様の方からエコポリスの工業導入のところで話が出ております。こんなことにつきましても菊川市は今、市が誕生して4年になりまして、国土利用計画などいろいろな計画がありまして、そういう中で位置づけをしながら市民の皆さんにPRして県とか国にもそういった動きを出していきたいと思います。計画が無いと話も通らないものですから、この後コミュニティ協議会を作ろうと考えておりますので、また西方地区のいろいろご意見聞きながら進めていきたいものですから是非お願いしたいと思います。

堀田 男性(再質問)

なんか話が消えちゃったんじゃないかと思って。

市長

消えてはおりません。消えたら掛浜バイパスが途中で切れてしまいますので、そしたら道の投資効果が無くなってしまいますので、なるべく今年もやりたいと思っていますので、やり方はどういうやり方が一番いいかということで、計画が消えてしまったわけではありませんので、誤解の無いようにお願いします。

堀田 男性

補助金、昨年スズキの会長さんの講演会のおきその話があって、その次の日に、また新聞に浜松市は大分削減できたというような記事を見た記憶がある。その時、菊川市のホームページを見たときに、一番最後の方に見直しをすると項目がありました。先週見ってみましたら補助金制度の見直しをするという項目が載ってまして、その中に一般公開をすると、金額からその効果そういった内容を網羅するというのが一番最後に載っておりましたが、それはどこを見ればそれが載っているのかちょっと分からないので教えていただきたい。

市長

補助金の基本的な考え方ではなくて、その成果や補助金がどこへ載っている

ということですか、補助金はどういう補助金かということですね。

堀田 男性(再質問)

補助金の中にもNGOに対するものと市民個々にこういう補助金がでるよとか、そういったものは、自分自身は分からないんで、ちょっと調べてみたんですよ。そしたらそれが全然分からない。そういうことです。

市長

どういった制度があるかということですか。

堀田 男性(再質問)

制度じゃなくて、個人的に受けられる制度がどういった内容のものがあるかということを知りたいということと、その補助金を見直したという事ならば、見直した結果、市としては前年比いくら削減できたとか、逆に増えてしまったとか、それがホームページのどこを見ればそれが分かるのかということを知りたい。

市長

まず補助金の制度ということで、制度はいろんな制度がありまして、国の制度もありますし、市の制度もあります。ここを見ればすべての制度が分かりますよというのは、ちょっとホームページでは難しいと思います。ですから、例えば福祉の関係でしたら福祉担当の方に聞いていただくとか、あるいは子育てについては、どの程度補助があるかということはお聞きいただければ分かります。もう1つの業務の中で補助金を削減するということについては、市の独自の補助金でいいですね。例えば、西方のこういった地区に市としての補助金を出してほしいだとか、あるいはこういった案件に補助金を出していますだとか、それがどうなっているかということですね。それについては行政評価という形でやっております、ホームページの方で。それについては担当の方から詳しく説明をさせていただきます。

企画政策課長

すいません分かる範囲で説明させていただきます。まず、補助金の見直しにつきましても、先程ちょっと市長が説明したんですけども、集中改革プランの項目の中で「補助金の見直し」という形でやらしていただいております。その効果額ですけども、平成18年度に1,100円の削減の効果と、それから平成19年度は8,600万円という評価がでているということで報告させていただいてお

ります。補助金の見直しにつきましては、行政評価の中で補助金シートという物を作っておりまして、それで一応見直しをさせていただいてます。詳細がホームページのどこにあるかということでございますけども、それはちょっと戻りまして調べて、また牧野さんのところにご連絡させていただきますので、ホームページのどこに、例えば棒グラフはここに載っているんだよ、それから見直した補助金はこういうものがあるよというのがホームページの方に、集中改革プランと行政評価のシートで載っているかと思っておりますので、ちょっとそれを確認して牧野さんの方にご連絡させていただきますので、申し訳ございません。

堀田 男性

すいません。続いてもう1ついいですか。先程の説明の中で適正な定員管理をし、職員の削減を進めていますという話があったんですが、聞くところによると、議員さんも議会から削減するというお話聞いているんですけども、ただ端的にお伺いしたいんですけども、市の人口に対して、市の職員は適正は何人ぐらいなのがいいと言われているのか、国とかあるいは県のそういった基本的なものがあると思うんですよ。その中で菊川市は、多いのか逆に少ないのかそれがもし分かるようでしたら教えていただければ有り難いんですけども。

市長

まず、国とか県から各自治体が適正は何人ということはありません。1つは、類似団体で人口が5万人規模あるいは10万人規模の対比表という実数はございます。ですから私たちが、よく比較するのが人口5万人規模で全国に大体100ぐらい市がありますので、そこと比較しますと記憶の中では職員1人あたりの市民の数は、下から3番目に職員の数が少ないと、間違っているかもしれませんが記憶しております。もう1つは、職員が多い少ないの話ですが、類似団体の中で1,000人あたり菊川市は8人ということになりまして、10番目ぐらいの位置です。これが1つの目安というかそういった数字があります。それで話は変わりますが、多いか少ないかということの基準は、当然人数が多ければ市民への1人あたりのサービス量が上がる。優秀か優秀じゃないかということは別にしまして。もう1つは病院とか消防ですが、病院はお医者様の数が多い方が市民の皆さんに喜んでいただけますし、あるいは少ないと医療が低下すると思えますから、あまり人員を削減すれば救急業務とか消防業務というのが低下するものですから、それは財政とのバランスを見ながら取り組んでおります。しかし、合併した時の1つの約束事が3分の2ルールというのを10年間やりましょうということをやっていますので、その数字に10年間は近づけるような努力をしながらサービスが低下しないようにということを併せてやっております。

ですから何人にしようということまでは今、5年6年ぐらいですね。そこまでの数字は掴んでおりますが、そこをめどに取り組んでおります。

堀田 男性

今現在、豆尻橋のところで子供たちのスクールガードをやっているんですけども、西方川の豆尻橋のところは全国で2番目だか3番目に小さい一級河川なんですよね。どこの河川でも必ず歩道橋が付いてます。ただ豆尻橋のところは、子供たちが歩いていてその脇をダンプとかが走っていくんですよね。私はそれをしょっちゅう見てて「冷っ」とするんですよ。子供たちはそれを避けていて、ダンプは平気で脇を走る。ダンプだけじゃなく乗用車もそうですけども。あそこにとにかく片方でもいいですから、歩道橋を付けるスペースはあるんですよ。西側に5～6mくらいある。豆尻橋からずっとJRまでは路肩の整備をしっかりやっていただきたいそれだけです。

市長

いろいろありがとうございます。通学路につきましては、昨年も話をさせていただきまして、自治会の皆さんと地元の議員さんと話をしてお対応させていただいております。基本的には教育委員会の方の話になりますので、ただ教育長の方が欠席しておりますので、そういったご意見があったということは伝えておきます。

堀田 男性(再質問)

ツルタ電気さんから南はずっと歩道があるんです。豆尻橋から北が無い。

市長

それは私も承知しております。そのことにつきましては、私たち自治会の皆さんとも話をさせてもらっていますので、また対応させていただきたいと思っております。

堀田 男性

度々すいません。今通学の話が出たものですから、ちょっと外で仕事をやっているものですから、いろんな道を走るんですけども、その中で樹木や草の関係で、これらによって道路は本来の使用が不可能。例えば地名は分からないけども、牧之原の上の方で、おそらく小笠高校の生徒だと思っんですけども、自転車で下ってくるんですけども、途中で枝が出ているんでちょっと白線をはみ出して走っている。慣れているせいかそれなりに走っているようなんですけども、事故

があつては大変だという思いは常にしているんです。その生えている樹木の伐採は、本来法的には地主さん・樹木の所有者がやらなくてはならない。例えば生えてたら、はみ出た方は切ってくれと言う権利が生ずると、そういう風に理解をしてるんですよ。ただこれをどこへ言えばそれが成されるのか。たまたま、つい先日仕事をしてきて、ツルが下の方へ下がってきている。そこは、車はあまり通りません。おばあさんが通って、「あなたそれ切ってよ。」「法律で禁じられてるから切れないよ。市役所の方へ言ってくださいよ。」と、言ったんですがおばあさんも「市役所のどこへ言っていいかわからない。」って、私もわからないので、何課のどういうところに言えば処置してくれるのか。市役所も道路に関して気を使っているということなので、そういう所があると誰に言えばいいのか教えてください。

市長

基本的には市役所のどこでも言っていただければ、それを受け付けさせていただきます。基本的には自治会の事でしたら地域支援課、道路管理については建設課、農道とかだったら農林課とかいろいろありますで、それが縦割り行政の悪いところって言えばそうかもしれませんが、地域支援課が自治会の関係で窓口になっておりますので、地域支援課の方に言っていただければいいと思います。今私が言いましたように、国道であれば国が管理してますし、県道であれば県が管理してますし、市道であれば市が管理しております。今私が言いましたように、私有地が多いんですよ。近所の方が隣の家だから言えないとか、あるいはそういうことを言ってほしいとか話があるものですから、そういった場合には、支障があれば市としましても地主さんの方には伐採していただいたり、私どもの方では話はさせていただいております。従いまして、どこの所有かということで課については換わってきますので、地域支援課の方がまずは窓口ですから、そちらに言っていただければいいと思いますし、道路でしたら建設課になります。いずれかに言っていただければ大体話しは通じると思いますのでお願いしたいと思います。

堀田 男性

ついでにもう1つ。木の問題で小笠の嶺田地区、ここでは聞くところによると7年に1度日照権の問題で庭の樹木の高さ制限を設けて切っているそうです。市の条例にそんなものがあると聞いたことがあるものですから、ただ地域によってお互いの日照の関係でそういうことをやっている、2軒ばか小笠ではあるんですよ。菊川で聞いたことが無いんですが、市としてそういうものを踏まえていくようなことを検討してもらえないでしょうか。

市長

今の質問は始めて聞いたものですから、戻りまして小笠の嶺田地区やられているのか調べさせていただきたいと思います。日照権というと法律ですから、もし訴えられれば日照権に違反したということで、これは素人的な判断ですけども。それは嶺田の話なんですよ。

堀田 男性(再質問)

私の聞いた範囲では日照の問題で切っているんだと聞いたものですから、私も法律のことは分かりませんし、嶺田地区独特のもので、範囲もそれほど広くないそうです。狭い範囲でやっているということらしいです。

市長

また後で調べて確認して、説明させてください。

公文名 男性

市長の説明の中で、市の発展が南へ南へ延びている感じがしたものですから、実際北側にある公文名といたしまして、アンダーが通った後の道路ですね、以前この会場で将来の菊川の絵にしたものというものを見せてもらいました。一番立派な名前が付いた道路が中央幹線といいましたか、公文名まで延びていたんですけども、アンダーを越えた後の計画を少しでも説明していただければと思います。

市長

中央幹線の絵というのは市で作ったものですよ。

公文名 男性(再質問)

そうです。

市長

中央幹線という名前がまず1つでそれがどのような幹線なのかということと、もう1つは駅北開発推進委員会が調査した図面もありますし、あるいはちょっとイメージが違っていると申し訳ないものですから、今アンダーを抜けまして北側の開発・道路整備については都市計画で計画しているものはありません。ですから中央幹線というとういった位置づけの道路なのかははっきりここで答えができません。

公文名 男性(再質問)

菊川市の将来像を書いた絵なんですね。ここらへんを商業地区にしますよ、ここにこういう道路を作りますよ、将来を見せたそういう説明会をここでしたんです。

市長

ちょっと確認させてもらいます。5、6年前に駅北構想でここはこういう道路にしましょうとか、ここを住宅にしましょうとか、ここを商業施設にしましょうとか、というような絵は描いたことがあるですよ。その絵なのか業者の方で作った絵なのかっていうのがちょっと分からないものですから、確認させてもらってまた連絡させていただきます。